

事務局 〒028-3309紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 tel 090-3125-3776

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット14頁 —

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《しよもっこ寺〈新山寺跡〉(紫波町土館字和山・松森)(3)》

一般的な古代～中世の山岳寺院の施設、伽藍配置に当てはめると「しよもっこ寺」が寺院の中心域であり、その背後の高地の奥宮付近は寺域の土地の鎮守を祀る「鎮守社」の空間であると考えられます。また、「しよもっこ寺」跡周辺には「五才坊」「安住坊」などの地名も残されており、周囲にも「新山寺」を構成する、諸施設が分布していることが推測されます。

近世初頭に盛岡城下に移転した「新山寺」は現在の盛岡市加賀野付近に所在していましたが、明治時代の廃仏毀釈により廃寺になっています。

《《《 11～12月行事予定のお知らせ 》》》

11月15日 (水曜日)	第87回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 ① 発表者：桜井早苗 テーマ：五郎沼の古代蓮について ② 発表者：石幡 信 テーマ：北条館遺跡について
12月10日 (日曜日)	第19回 定期講演会	時刻/午後2時から午後4時まで (受付開始時刻：午後1時30分) 会場/JR日詰駅前 紫波町赤石公民館 講師/岩手大学人文社会科学部 教授 樋口知志氏 演題/未定(奥州藤原氏樋爪一族関係) 参加料/一人 500円(会員200円) 当日受付へ 参加申込/11月26日までにFAXで赤石公民館 019-676-3999へ送信 お問合せ/090-3125-3776 (高橋)

会員研修旅行 多賀城跡と関連古代城柵を巡る

最初の研修地は、天平宝字4年(760)に完成し宝亀5年(774)の海道の蝦夷による襲撃で焼失した桃生城跡(石巻市)。政庁跡の地点に登り更に数百メートル、最後は道のない藪を歩いて土塁跡まで行くことができました。事前調査した石幡さんと熊谷さんの適切な誘導に助かりました。

東北歴史博物館で庭を眺めながら昼食をとり、研修室で学芸部長さんの講話を拝聴し、館内展示を見学。お待ちになっていた観光協会ボランティアガイド代表幹事の鈴木勲さんの案内で多賀城廃寺跡、多賀城碑と流暢な説明を聞きながら政庁跡へ。夜のイベント出演のためリハーサル中の高校生等の傍で記念撮影。午前の予定を、急に午後に変更したにもかかわらず、快く対応してくださった鈴木さんに、全員でお礼を申し上げ最後の研修地に向かいました。

バスの中では、金濱さんから前九年合戦の端緒となった阿久利川事件に関わる発表を楽しく聞いたりしているうちに伊治城跡(栗原市)に到着。残念なことに発掘調査が数日前に終了していたが、宝亀11年(780)に多賀城を占拠した「伊治公皆麻呂の乱」で有名な、伊治城の正殿跡に立って往時を偲び、外郭北側の朱色の柱が目をはく文化財管理センターを見て帰途に着きました。

予定を1時間近く遅れての帰着となり、午前の時間設定の誤算が最大の反省点でした。皆さんの暖かい思いやりと、狭い道にも入っていただいた運転の熊谷さんには、心から感謝しています。

☀ ☀ ☀ 比爪館跡の発掘調査 No.44 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

比爪館 第31次・第32発掘調査報告書<学校法人紫波学園・紫波町教育委員会(平成27年3月発行)>

【第31次発掘調査】

2 調査の概要 (2) 調査に至る経過 (7頁)

町道箱清水8号線上水道配水管更新工事に伴い、その事業区域内に比爪館遺跡が存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

紫波町水道事業所から平成25年6月18日付で文化財保護法第94条第1項に基づく埋蔵文化財発掘通知の提出があり、平成25年6月19日付で岩手県教育委員会から工事着手前の試掘調査の勧告があった。その後、紫波町水道事業所の依頼を受けて平成25年8月25日に試掘調査を実施した。調査の結果、遺構等が確認されたため、紫波町教育委員会は紫波町水道事業所と協議を行い、平成25年8月26日より記録保存調査に着手した。

3 調査の概要 (8頁)

[位置] 町立赤石小学校校庭の南辺に隣接する地点で、幅1.20m、長さ9.42mを調査した。

[検出遺構] 竪穴住居跡1棟、溝跡6条、土坑跡2基、柱穴8口である。

[出土遺物] かわらけ11点(ロクロ10・てづくね1)、あかやき土器5点(坏4・甕1)、土師器2点(坏1・甕1)、須恵器1点(大甕1)、北陸型甕2点、中国産磁器(白磁碗1)、木製品・鉄製品・石製品・釘・古銭その他合せてコンテナ3箱

5 総括 (45頁)

時期は、出土遺物から竪穴住居跡と溝跡1条は平安時代(9世紀頃)、他の溝跡と土坑跡は中世(12世紀頃)に属すると思われる。

☆☆☆☆☆☆

紫波一中ゆうごうセミナー参加の生徒さんからの手紙

☆☆☆☆☆☆

参加した12人の生徒さん全員から、お礼の手紙をいただきました。感謝の言葉が多く、歴史に関心をもってくれたようです。紙面の都合から6人だけの手紙を、前文と結語を省略して紹介します。

※ この郷土史を学んで紫波町の赤石地区だけでも、たくさんの歴史があることを知ってびっくりしました。講師先生に、とても分かりやすく教えていただいたおかげで、とても楽しい思い出になりました。ありがとうございます。今回のことをきっかけに、他の地区の歴史も調べてみたいと思います。

※ この講座で五郎沼の歴史や伝説を、そして藤原氏系図などを知ることができました。学んだ事はこれから他の人に教えたりなど、いろいろなことに生かしたいと思います。講師先生方郷土について優しく分かりやすくそしていねいに教えてくださり本当にありがとうございました。

※ ぼくは、この五郎沼の体験をして、たくさんの事を知りました。例えば、清原武則、安倍頼時藤原頼遠の事に関してや、平泉三点セットのかわらけ、中国産青磁、国産陶器の名前などたくさんわかりました。特に印象に残ったのは、「夜泣き石」という物です。土に生き埋めにされた女の人は、とてもかわいそうでしたが、みんな

のために命をささげたことは尊敬しています。

※ 僕は、樋爪館・五郎沼めぐりをして、たくさん新しい発見をしました。たくさんの歴史の人物も知れたし、色々なキーワードを教えてもらいありがとうございます。多少、お腹が減ったり、歩くのが辛かったり、荷物が重かったりして大変でしたが、すごく楽しかったです。

※ 初めて、郷土の歴史を深く学びましたが、こんなにも長く、すばらしい歴史があるとは思っていませんでした。特に、出土したもののお話を聞いたときは、いろいろなものがあると知り、とてもおもしろかったです。今回のことをきっかけに郷土の歴史について、強い興味をもったので、これからももっともっと知りたいと思います。

※ 五郎沼や樋爪館などの歴史を教えて頂き大変勉強になりました。これも講師先生の丁寧なご指導があったからこそです。本当にありがとうございます。今回のことをきっかけに、歴史にとっても興味をもちました。これからはたくさん歴史を学習したいと思います。